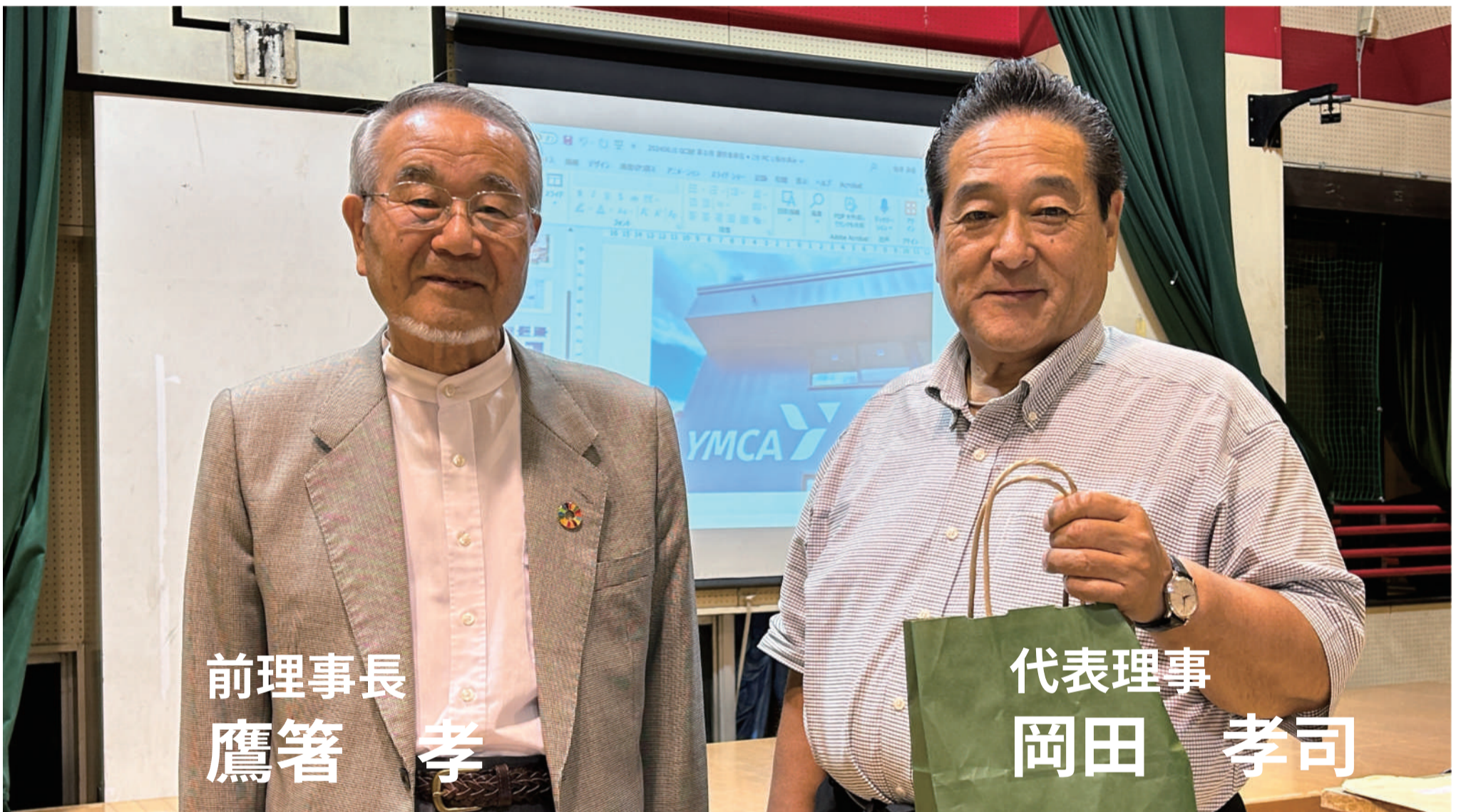




# YMCA News



2024年9月1日発行  
公益財団法人とちぎYMCA  
〒320-0041  
宇都宮市松原2-7-42  
Tel 028-624-2546  
Fax 028-624-2489  
www.tochigiyymca.org  
発行人 / 塩澤 達俊  
編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA



前理事長  
鷹箸 孝

代表理事  
岡田 孝司

2024年6月21日 公益財団法人とちぎYMCA 第1回評議員会にて代表理事の退任・就任式が行われました。  
鷹箸孝前代表理事と、岡田孝司代表理事よりご挨拶を申し上げます。

### 退任挨拶

皆様たいへん暑い日が続いております、ご自愛ください。  
私こと去る6月を持って公益財団法人とちぎYMCA代表理事を退任いたしました。とちぎYMCAの代表として12年間務めさせていただきました。私の様な者を用いて下さった多くの会員の皆様、ご協力いただいた個人や企業団体の方々、また職員の皆様。本当にお世話になりました。心から深く感謝申し上げます。  
3年ほど前から交代を考えておまして、果たして期待に応える役割を果たせたのか疑問が残ります。  
今後はビッグスケールの岡田理事長のもと、地域社会から必要とされ愛されるとちぎYMCAとして発展することを願っています。  
ご協力ご支援いただいた多くの皆様方に重ねて御礼申し上げ、退任の挨拶といたします。有難うございました。

鷹箸 孝



評議員会の様子

### 就任挨拶

私がYMCAと関わりを持ったのは今から34年ほど前35歳の頃でした。宇都宮の東地区にYMCAのサポートクラブであるワイズメンズクラブを立ち上げようという機運が高まり、その構成メンバー中の一人に私が上がっていたのでした。その頃の私は、「ボランティア活動などは偽善者がすることで自己満足の塊みたいなものだ。」などとうそぶいている様な人間だったのですが、その集まりがあるときにひょっこり行って見たのです。  
するとその時そこにいた人たち、今思うととちぎYMCAを立ち上げた重鎮たち、にちやほやと持ち上げられいい気になって浮かれている自分がいたのです。  
YMCAとは、そんな馴れ初めなのですが、YMCAに属してからはよほど性分が合ったのかお年寄りの方との活動や不登校の子もたちとの活動、募金活動、そしてフィリピンのストリートチルドレン里親の会発足など、ボランティア活動の先頭に立つようになっていきました。  
しかし私が42歳の時、会社を辞める羽目になり自立をしなければならない事になりました。そうして今迄の社会的な付き合いが途絶え、ましてそれが敵になり、孤独が襲って来たのです。そんな時にいつもと変わらないスタンスで付き合いしてくれたのがYMCAの仲間たちでした。その時私は、YMCAによってどれだけ救われたかわかりません。  
心の支えであり、ボランティアの場であり、仲間たちであり、人生の良き相棒の様な気がしたのです。  
それぞれの人にとってのYMCAへの思いは色々あるとおもいますが、いつも前向きに物事を考え、社会の為に行動し、明るく平和で夢のある未来を語り合える様なとちぎYMCAにして行きたいと思っておりますので、皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。

岡田 孝司

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

## 2024年度とちぎYMCA年間聖句

《善いサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章30節~37節



### 認定こども園 さくらんぼ幼稚園

## 「 宿泊保育 」



年長児が宿泊保育を行い、みかも山公園・自然の家みかもへ出掛けました。1日目はみんなで力を合わせてすいか割りをしたり、フラフートレインに乗ってみかも山公園に行ったりしました。公園はとても広く体を思い切り動かして、4クラスで遊ぶことができました。夜にはキャンプファイヤーもあり、みんなで歌を歌いながら楽しく過ごしました。経験したことがなかった子が多く、眠る前には「火の精がいたよね」「もう1回キャンプファイヤーしたいな」という声が聞こえました。

2日目には、ネイチャービンゴというゲームにグループで挑戦しました。自然の中から「ちくちく」「ふわふわ」「鳥の声」などを探し、ビンゴを作るゲームでした。子どもたち同士で相談をしたり、発見を仲間に伝えたりとゲームを通して協調性を育てていく姿が見られました。次の活動の準備や着替えなどを自分で行う姿が見られ、ご飯やお風呂、就寝を共にしたことでクラスの絆も深まったように感じます。普段は味わうことのできない貴重な体験をすることができた宿泊保育となりました。



### ようとう保育園

## 「 年少児うぐいす組 夏を満喫!!プールあそび 」



7月11日(木)にプール開きがあり、プールあそびが始まりました。

子どもたちは登園してくると「今日はプール入れる?」「水着持ってきたよ」など保育士や友だちと会話をしてプールがあることを楽しみにしています。「水着に着替えるよ」の掛けで、待ってました!とばかりに準備する子どもたち。最初は水着の前後が分からなかったり、帽子が被れなかったり着替えに戸惑ったりしていましたが、回数を重ねるごとに保育士の手を借りず、一人でできるようになりました。プールの中では「先生、こっち見て」と言って水につけたり、ワニさん歩きをしたりしています。時には顔に水が掛かってしまい嫌がる子もいるのですが、ビーズやボールなどの玩具を使って宝探しや玉入れあそびを保育士や友だちと楽しむうちに、徐々に水に慣れてきました。

8月からは、大きなプールになり、水の量や広さが今までとは違うので、怖がる子もいるかと思ったのですが、怖がるどころか、初めての大きなプールに興味津々、大喜びでプールに入り、「つめたーい」「気持ちいいね」と水しぶきをあげて意欲的にあそんでいます。夏ならではのあそびは一人ひとりの成長発達に繋がる大切な活動なので、共に全力楽しむことと、水の怖さやあそびのルールをしっかり伝えることを心がけました。

うぐいす組担任 山口 浩美・河野邊 真菜



## もうひとつの家 アットホームきよはら × 親と子どもの居場所 めいめい 「 合同バーベキューを開催しました! 」

めいめいとアットホーム合同で、バーベキューをしました。ワイズメンズクラブの皆様にご協力をいただき、和気あいあいとした時間を過ごすことができました。その中でも、皆様との出会いを喜ぶ子どもたちのエピソードを2つ紹介します。

### (1) ワイズメンズクラブの皆様との交流

めいめいに通う小学生の男の子が声を掛けたように、ワイズメンズクラブの方をちらちらと見ていました。お皿が空になると、「よし!お肉を取りに行く時に声をかけよう!」と向かいます。自分の名前を伝えてから、相手の方の名前を聞くと、忘れないように繰り返し名前を呟いていました。その後は、焼き鳥を焼くワイズメンズクラブの方の横で小学校の話をしたり、焼き鳥を配膳するのを手伝ったり、自ら関わりを持っていました。最後に「焼き鳥おいしかったです。また来てね!」と笑顔で声をかけていました。

### (2) アットホームとの交流

めいめいに通う年長の男の子が、アットホームに通うお姉さんの名前を知りたくて、何度も近づこうと試みていました。それに気づいたお姉さんが男の子の居るところに来て、アイドル風に自己紹介をしてくれました。それを見た周りの子どもたちも真似をして踊り始めました。お姉さんたちが高く伸ばした手にタッチする遊びをしていくうちに、一気に互いの距離感が縮まってきました。自ら名前を伝え、お姉さんたちに呼んでもらい、会話をしていました。はにかみながらも嬉しそうにやりとりをする姿は微笑ましかったです。男の子は「楽しかった!また遊ぼうね!」と伝え、姿が見えなくなるまで名残惜しそうに手を振っていました。この度は、皆様からたくさんのご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。



### 子どもの家だより

## ～ゆいの杜子ども家 (クローバークラブ)～ 「 夏休みの思い出 」

今年の夏もとても暑く、熱中症対策のため、外あそびに中々行けないこともありましたが、外で過ごす時間が短くなってしまいましたが、室内あそびでは、それぞれ友だちと楽しむ姿が見られたり、考えて遊んだりする姿が見られました。その中でも、「カプラ」というおもちゃでは、友だちと協力して高く筒状に積み上げたり、らせん状に作ったり、崩れないように慎重に作り、完成した時の子どもたちの顔はとても嬉しそうでした。

また、アメリカのYMCAから来たお兄さん・お姉さん(ICEP)との交流や、台湾・南投YMCAから来た学生との交流、JAFの交通安全教室、自分だけのうちわ作り、プラ板、くじ引きなどの様々なイベントも行いました。おやつでは、駄菓子や、かき氷、ジュースバーにポップコーンなども企画し、子どもの家でも夏を満喫することができ、子どもたちの喜ぶ姿が見られました。



支援員 八木澤 茜

### 宇都宮市青少年活動センター(トライ東)

## 「 トライ東開放デーを開催します! 」

無料開放します!



ご家族連れで!お友だち同士で!

各コート50分の交代制

用具の貸出しあり!



トライ東開放デー

『トライ東開放デー』を開催いたします。“施設開放デー”とは、施設利用料が掛からず、無料でお使いいただける日のことです。用具の貸し出しも可能です。

お友だち同士で、ご家族同士でバドミントンや卓球、テニスを楽しんでみませんか?皆さんのご来館をお待ちしております!同日開催“カレーの日”も実施予定です!

トライ東のイベント情報は  
コチラ!



◀トライ東HP「イベント情報」最新のイベント情報や、親子や友だち同士でお楽しみいただける企画がございます!ぜひ、ご覧ください。

# ICEP プログラムが終了いたしました



たくさんの方々のご協力を得て、今年も ICEP プログラムが無事に終了いたしました。  
7月5日～8月4日までの約1か月間、アメリカの高校生が14名来宇し、  
①ボランティア ②ユースとの交流 ③文化体験、観光 ④ホームステイをいたしました。



①ボランティアでは、さくらんぼ幼稚園、ようとう保育園、マイホームきよはら、チャレンジド、ゆいの杜小学校学童への訪問、日本の子どもたちのリーダーとなり、1泊2日のキャンプ、ICEP2DAYSへの参加、YMCA EASTのオープンハウスや、釜川クリーニング大作戦でのお手伝いをしました。思ったより子どものグループを引率することが大変だと気付いたり、ちょっとしたことで言葉の壁を越えて交流できると気付いたり、たくさんのことを学べたようでした。

②ユースとの交流では、ワークショップや宇都宮短期大学附属高等学校への訪問、ユースボランティアとの交流を通して、英語やジェスチャーを交え積極的に交流することが出来ました。

③文化体験、観光では、宇都宮だけでなく、日光や東京にも足を延ばしました。日本の伝統的なものを買ったり、アニメ関係のものや、洋服を買ったり、ガチャガチャをしたり、大満喫でした。

④そして今年から復活したホームステイでは、みんな家族の一員になったようだと言っていました。

たくさんの経験をした彼らですが、一番の思い出は、日本の子どもたちとのキャンプや2DAYSでのリーダー体験、ホームステイなど、人々との交流だったそうです。交流が彼らの一番の思い出になったことをうれしく思うとともに、さまざまな形でかかわってくださった皆様に心より感謝いたします。また来年もICEPプログラムをどうぞよろしくお願いいたします。



# YMCA EAST がオープンいたしました!

宇都宮東 YMCA はこれまで約 40 年間、峰4丁目を活動拠点としておりましたが、『YMCA EAST』と名称を変更し、7月より陽東4丁目（産業道路と柳田街道の交差点付近）に移転いたしました。

ここでは「親と子どもの居場所 めいめい」「24時間対応の定期巡回型訪問介護ステーション CCE」「YMCA の英会話教室」「学生や若者のボランティア活動」など『これまでの』YMCA 公益活動も行わせていただきますが、それに加えて、これから地域のみなさまにいろいろお話を伺ったり、アイデアをいただいたりしながら『これからの』新しい活動（みんなの食堂や、だれでもカフェなど）をいろいろ始めてゆきたいと思います。

先日、オープンハウスが開催され、近所のお子様やシニアの方、また ICEP もボランティアとして加わり、盛大にお披露目させていただきました。赤ちゃんからシニアまで、だれでも、いつでも、気軽に立ち寄れて、あそこに行けばなにかある!、あそこにいけば何とかある!という愛される地域の居場所になりたいと思いますので、みなさま、これからお付き合いの程よろしくお願い申し上げます。



## 月刊# (ハッシュタグ)

とちぎYMCA総主事  
塩澤 達俊

### 第38回 #なにそれなにそれ

#高齢者 #Web 研修 #人権

おかげさまで聖書の「黄金律」に自由な考察を加え大反響だった日本 YMCA 専門職管理者研修講義（『YMCA と福祉』）を7月に終えホッとしているところです（受講のみなさまからの講義評価がまだ来ていないので）。

そこへ間髪をおかず、日本 YMCA が今年から始めた Web 研修の講義依頼をいただきました。このねらいは「YMCA 職員として正しい基本的知識と人権感覚を養う」でテーマは「なぜ人は差別をしてしまうのか」だそうです。

そのなかの「高齢者の人権」についての講義ご用命をいただいた次第です。

私の講義スタイルは、「一介の学習者」としての自身の学びを受講者みなさんと分かち合い、各人のお役に立つことですので、私なりに考えているところを題材にしてみようと思っています。

出発点は「人権」で、憲法の基本的人権をひも解いて「個人として尊重されること」「幸福追求についての権利であること」「公共の福祉に反しない限り、最大の尊重がされること（言い換えれば個人の幸福と公共の福祉の折り合い）」というあたりから始めようと思います。

そのうえで「なぜ『高齢者の』（こどもの、女性の、障がい者の、マイノリティーのも同様ですが）と、特別にその対象の人権が取り上げられなければならないのか?」の問いを立ててみようと思います。

ここでは、そもそも「高齢者」とは誰か?また特定の人々を「高齢者」とする属性は（年齢?社会的状況?心身状態?）何であり、その属性は現代の人権感覚と照らし合わせた場合どこに合理性がありどこに不合理性があるのか?などに触れて考察してみたいと思います。

現時点で想定している図式として、「人権」にまつわるフィールドを「幸福」と「福祉」をヒントに最広義～最狭義まで仮設定し（welfare～well-being～social service）、「高齢者の人権」が取り沙汰される場面を、文化人類学的視座～国家観及び社会保障制度（富や幸福の分配等）～高齢者福祉（ケア等）などに分けながら考察を展開しようと思っています。

どうでしょう?面白そうですか?

## 高校生ボランティアグループ「つぼみ」

### つぼみ通信 vol.16



### つぼみがくれた自信

私は、今年度の4月からつぼみに入って、この夏、人生ではじめてボランティア活動に参加しました。

ボランティアと言っても、なにをするのか全く想像がつかず、役に立つかと不安な気持ちがありました。しかし、そんな不安を吹き飛ばしてくれるプログラムがありました。それは、「ICEP2DAYS」です。これはわたしにとってはじめてたくさんの人と関わるボランティア活動でした。たくさんのリーダーや、アメリカからきた ICEP の人たち、幼稚園児、小学生、その保護者というたくさんの人と関わり活動を行いました。たくさんの人たちと2日間を過ごすなかでたくさんの人から「ありがとう」という言葉をもらえました。その言葉をたくさんもらったことで誰かの役に立てたという実感が湧き、ボランティア活動への自信ができました。

これからはもっといろいろな人にたくさんのことを貢献できるような人を目指してこの活動を続けていきたいです。

宇都宮文星芸術大学附属高校1年 河本 和夏(くわ)

## 【感謝】2024年度とちぎYMCA 会員報告

■2024年6-7月 会費ご納入いただいた皆さま(敬称略)

螺良修一、橋本寿夫、中村俊幸、十河弘、村山直樹、持田二郎、高村和夫、高橋文代、増山雄貴(増山公認会計士事務所)、田巻秀樹、伊澤良則、布川武男、丸山孝、伊澤智昭、高村博、齋藤仁、金田敏雄、種ヶ島和洋、並木信一、福本知恵子、江口健司、横嶋依里子、矢部真人、山口俊一、田上中・徳子、田中陽稀、田中袖妃、伊藤貴子、石川雅之、阿久津哲男、井口美代子、田代富夫、山崎敦子、平田和子、増山律子、佐藤隆久、里村美奈、中村新、中村咲舞、宇都宮乳業(株)代表取締役 福田隆男、菊地知子、中川哲夫、谷津行男、久保孝弘、長谷範子、川上聖子、宮下博行

ありがとうございました。